

ワコールグループの事業活動における重要課題

ワコールは、創業当時から「相互信頼」経営をうたい、あらゆるステークホルダーや社会との関係のありようを示すとともに、事業活動の根幹を成すものとして社是に掲げています。すなわち、ワコールにとっての健全な企業活動とは社会の要請と期待に応えて、社会から信頼されることと一体不可分であり、原点だと考えています。

当社はグループ一体となって6つの重要課題に取り組み、「社会との相互信頼づくり」を通じて、社会全体の発展への貢献と企業価値の向上を実現していきます。

重要課題	課題に対する主な取り組み	進捗		
<p>1</p> <p>「美しくありたい」という 願いの実現による 社会への価値提供</p>	<p>2</p> <p>安心・安全で 高品質な商品と サービスの提供</p>	持続可能を実現する革新的な技術活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 顧客情報データベースの構築 3Dボディスキャナー、AI(人工知能)を活かした接客サービスの実用化 	P.36～
		お客さまの課題を解決し、満足度を高める製品イノベーション	<ul style="list-style-type: none"> 快適性と造形性を両立するブラジャーの開発 導入世代強化 さまざまな体型に対応する商品の展開強化 	—
		競争力ある製品・材料の供給ができる体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 接着・無縫製商品の供給拠点確立 タイ・材料工場の不採算部門の整理 	—
		変化する流通チャネルへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 各国における積極的なECチャネルの開拓 国内小売事業(直営店)の収益性改善 	—
		品質保証活動の継続的な推進(事実即した偏りのない情報の提供)	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の品質管理力の向上を目的とした、品質基準やデータ管理などに関する連絡会の実施 	—
		事業活動における環境負荷低減の推進	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量の削減 ブラ・リサイクル運動 	P.49
		情報セキュリティ体制のさらなる整備	<ul style="list-style-type: none"> 標的型メールに関する教育プログラムの実施 	—
	<p>3</p> <p>挑戦意欲が高く、 公正で、働きがいのある 事業組織や 風土の実現</p>	人材マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> グローバル人材の育成に向けた海外研修制度 社員による公募型提案制度を推進するとともに、発想や実行ポイントを外部講師から学ぶセミナーの開催 	P.44～
		働き方改革による生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 働き方・休み方改革(テレワーク、休職制度など)による「働きやすさ」の環境整備 	
		女性の活躍推進、多様な働き方への対応	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の雇用促進と活躍機会の創出を目的として設立した「ワコールアイネクスト(株)」が、特例子会社に認定 	
		健康経営	<ul style="list-style-type: none"> GENKI計画2020の推進(4年連続の健康経営銘柄への選出) 	
	<p>4</p> <p>世界各地での 「プレストケア(乳がん)」 課題への支援</p>	世界の事業所におけるプレストケア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 乳がんの早期発見を支援する活動の一環として、試着枚数に応じた寄付を実施 乳がん検診サポート事業や、リマンマ事業の展開 	P.46～
		NPO、NGOと協働した社会インフラやコミュニティの発展への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ピンクリボンアドバイザーの育成支援 地元京都府の乳がん検診率向上への支援 	
	<p>5</p> <p>相互信頼と 協働に基づく CSR調達 パートナーシップの 構築</p>	体制、仕組みの整備	<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理・リスク管理委員会傘下にCSR調達委員会を設置 	P.48～
		サプライチェーンマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 製造委託先工場の自己評価の分析を実施し、各社へのフィードバック、是正・改善計画を提出 現地監査の実施 	
		製造委託先工場リストの開示	<ul style="list-style-type: none"> (株)ワコール、(株)ピーチ・ジョン、(株)ルシアン¹の製造委託先工場の開示 	
	<p>6</p> <p>コーポレート・ ガバナンスのさらなる整備</p>	収益性の改善と資本効率向上の実現	<ul style="list-style-type: none"> (株)ワコールの卸売事業・小売事業の事業効率、収益性改善 	P.24
		コーポレート・ガバナンスの継続的整備(リスク管理・コンプライアンス体制含む)	<ul style="list-style-type: none"> 買収防衛策の非継続 コーポレートガバナンス・ガイドラインに沿った整備 コンプライアンス浸透に向けた教育の実施 	P.50～
		実効性の高い取締役・監査役会	<ul style="list-style-type: none"> 実効性評価の継続実施と改善行動 	
		情報開示とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 経営者による積極的な対話の実施 株主・投資家の対話を通じていただいた意見・要望のフィードバック 	

6つの重要課題について 持続可能な社会を実現し、社会とともに発展を遂げていくために、当社では事業と関連性の高い6つの重要課題を定めています(重要課題の絞り込みプロセス、確定根拠については、「統合レポート 2018」をご覧ください)。

目指す姿

持続可能な発展

1 2

多様性を活かす社会

3 4

透明性の高い体制

5 6

今後の取り組み	ステークホルダーへの提供価値	当社グループへのインパクト
<ul style="list-style-type: none"> グローバルベースでのデジタルマーケティング戦略の構築強化 3Dボディスキャナー、AI(人工知能)の展開店舗の導入加速 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さまの多様なニーズや価値観に応える商品やサービスの提供 ●お客さまとワコールとの「深く、広く、長く」つながる関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たなビジネス機会の創出及び収益機会の獲得 ●事業ポートフォリオ拡充による持続的な成長の実現 ●ITの活用による事務効率の向上 ●ブランド力強化
<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積したパーソナルデータをもとにした新製品の開発 ・国内外の垣根を取り払った付加価値の高い新製品の導入 		
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ生産計画、管理体制の強化 ・材料の共通化推進に向けたグローバル材料担当者会議の設置 		
<ul style="list-style-type: none"> ・国や地域特性を見据えた、主要なECサイトとの連携及び自社ECサイトの強化 ・事業規模の小さな国や地域の強化に向けた成長投資と事業基盤の整備 		
<ul style="list-style-type: none"> ・重大品質問題の根絶に向けた、グループ内の表示表現審査体制の再点検 ・広告・コミュニケーション表現におけるコンプライアンス意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまとの信頼関係の基盤強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビジネス基盤の充実 ●社会との相互信頼の強化 ●環境負荷の低減と環境リスクの回避
<ul style="list-style-type: none"> ・包装材での脱プラスチック対応の推進 ・売れ残り商品廃棄の縮減 		
<ul style="list-style-type: none"> ・データセキュリティとプライバシー保護のさらなる推進 		
<ul style="list-style-type: none"> ・専門性、グローバルな視点、継続的な成長の3つの視点を踏まえた新たな人材教育システム導入 ・人材採用手法の再構築(キャリア採用、通年採用の検討・実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材がいきいきと働き、能力を發揮できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な人材の活躍による企業競争力の向上 ●健全な労使関係の維持 ●労働生産性の向上 ●ワークライフバランスの充実
<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上に向けた要員管理マネジメントの推進 		
<ul style="list-style-type: none"> ・育児のための短時間勤務制度の範囲拡大(2019年4月より一定条件を満たせば、小学校3年生の学年末までに延長可能に) ・全社員の健康リテラシーの向上と健康習慣の醸成 		
<ul style="list-style-type: none"> ・新たなプレストケア活動の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●乳がんで笑顔や夢を失くすことのない社会 	<ul style="list-style-type: none"> ●信頼資産(顧客資産)の拡大
<ul style="list-style-type: none"> ・NPO、NGOと協働し、小・中学生に対するがん教育を支援 		
<ul style="list-style-type: none"> ・調達担当者、サプライヤーへの教育・啓発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●取引先・サプライヤーとの協働を通じた、事業活動の負の影響の回避・緩和 ●製造工程も含めたサステナブルな商品の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●取引先・サプライヤーとの相互発展 ●製品の信頼性維持と担保
<ul style="list-style-type: none"> ・現地監査の継続実施 ・CSR調達活動の対象範囲拡大 		
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)Ai(アイ)の製造委託先工場の開示 		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動を通じた収益性の向上と運転資本の圧縮(国内子会社など不採算部門の事業改革) ・政策保有株式の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> ●お客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーの皆さまとの信頼関係の基盤強化 ●すべてのステークホルダーへの価値配分の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ●相互信頼経営の実現 ●成長機会の獲得と事業リスクの低減 ●資本コストの低減 ●市場からの適正評価獲得
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の実行性を高める報酬制度やサクセッションプラン等のさらなる整備 ・BCP計画の策定 ・国内外の子会社に対するコンプライアンスの啓発、経営理念の浸透 		
<ul style="list-style-type: none"> ・実効性評価の継続、評価方法・プロセスのさらなる改善 		
<ul style="list-style-type: none"> ・個人投資家も含むステークホルダーとの対話機会のさらなる創出 ・ESGの取り組みに関するミーティングの開催 		